

●トピックス

## 総合教養教育機構

単なる観念的な知識ではなく、身についた知識・態度を獲得するための教養教育をいかに効果的に達成するかを考え、実施する機構が総合教養教育機構である。具体的内容としては次のような授業項目が実行されている。

- 1 早期体験  
「医学特論」「早期体験学習」
- 2 社会の中の医学・医療  
「医学概論」「医学史」の充実
- 3 一般教養科目の充実  
「フランス語」の開講
- 4 新規科目の設定  
「医学・生命科学入門」「健康科学」  
「医学英語」の開講

### 「医学特論」

最先端の細胞生物学や現代医学のトピックスを学ぶ。医学のさまざまな領域で現在展開されている研究や実践活動を知ることによって、医学とは何かを考え医学に求められている課題を学生自身が発見し、その後の能動的学習の契機を形成することを目的としている。

平成10年度・11年度に実施した「医学特論」の内容は表のとおりである。

### 「医学・生命科学入門」

現在、生命科学の最先端分野においては「ヒトゲノム解析計画」が進められ、遺伝子に関わる知識は必要不可欠な状況にある。一方、多くの大学（特に医科系）においては高等学校で生物学を履修していない学生が多数入学している状況にあり、入学後に開講される生物学関連科目や基礎医学科目における授業運営に大きな支障となっており、この問題を解決するための方策が求められている。

本学では平成11年から医学科第1学年を対象に「医学・生命科学入門」を開講したが、出席率は90%以上で、これまで実施した講義は学生の間でたいへん好評であった。

## 医学特論

回	年月日	演者	演題
1	H10 5.7	近畿大学 入谷 明	クローン動物のすべて
2	5.22	山梨医科大学 星 和彦	世界と日本における生殖医学の進歩
3	7.2	京都大学 中西 重忠	神経伝達の分子メカニズム
4	10.15	大阪大学 岸本 忠三	病気との闘い：生命科学の100年
5	10.29	手稲溪仁会病院 崎山 幸雄	遺伝子治療の現況 ～国内ADA欠損症例を中心に～
6	11.12	東京大学 中村 祐輔	ヒトゲノム解析計画 ～その意義と展望～
7	11.19	名古屋市立大学 鈴森 薫	胎児治療の最近の進歩
8	H11 1.11	京都大学 本 麻 佑	体を守る必然と偶然
9	1.28	神戸大学 西塚 泰美	細胞のシグナル伝達・仕組み ～科学における出会いと伝承～
10	2.2	京都大学 鍋島 陽一	老化の分子機構
11	11.25	大阪大学 岸本 忠三	生命科学100年：その光と影
12	12.2	(財)レイ・バスターール 医学研究センター 藤田 哲也	生命の発生と脳の進化
13	H12.1.20 (予定)	北野病院 高月 清	臨床研究の在り方

## 医学・生命科学入門

	講師	講演題目
前期	本学教授 佐藤 浩	序論
	放送大学愛知学習センター所長 田中 健治	細胞の構造と機能
	京都大学名誉教授 畑中 正一	ウイルスの世界
	本学教授 佐藤 浩	遺伝子
	京都大学医学研究科教授 塩田 浩平	発生の仕組み
	本学教授 大久保岩男	細胞の化学反応と酵素
	本学教授 瀬戸 昭	生体防御
	本学教授 堀池喜八郎	細胞の化学反応と酵素
	本学教授 木村 博	細胞の分裂と分化
	本学教授 木村 宏	神経とその働き
後期	本学助教授 柏木 厚典	ホルモンとその働き
	本学教授 服部 隆則	細胞の分裂と分化
	関西医科大学教授 池原 進	骨髄移植と臓器移植の展望
	本学名誉教授 戸田 昇	一酸化窒素(NO)：1998年ノーベル医学 生理学賞受賞の対象となった新しい分子
	本学教授 松浦 博	細胞間シグナル伝達のしくみ
	本学教授 小笠原一誠	免疫系の認識論
	本学教授 工藤 基	脳の進化
本学教授 陣内皓之祐	運動調節のしくみ	
本学副学長 狭間 章忠	脳動脈瘤の成立機序：実験医学の進め方	